さくら湖自然環境フォーラム2022

ーさくら湖流域からの最先端の生態学術研究の情報発信ー

開催日時 令和5年3月10日(金) 13時00分～15時30分

開催方法 WEB配信(ZOOMウェビナー、三春町自然観察ステーションより配信)

参加費等 無料・最大500人・事前登録必要
パソコン・タブレット・スマートフォンで視聴可

申込URL https://zoom.us/webinar/register/WN_QzLkv3RGQVqFEgII3ssZcA

参加申込はこちらから

開催趣旨

さくら湖(三春ダム湖)流域の市町や三春ダム管理所では、地域住民が環境について認識を深めるために、三春ダム運用直後の平成12年(2000年)から、毎年「さくら湖自然環境フォーラム」を開催しています。第23回目の令和4年度は、さくら湖とその周辺における最先端の生態学術研究の取り組みを学び、さくら湖とその周辺の自然環境について知識を深めたいと思います。

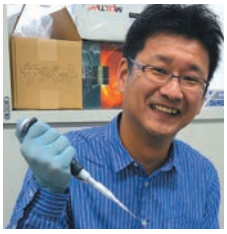
プログラム

13:00～13:05 開会挨拶
13:05～14:25 活動・研究報告
14:25～14:35 休憩
14:35～15:25 基調講演
15:25 閉会挨拶

参加・受講証明書(CPD)発行

基調講演

環境DNA分析で明らかにするさくら湖の魚類相



源 利文 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授

経歴 1973年東京都生まれ。小学校2年生より高校までは岐阜県に住む。2003年京都大学理学研究科博士後期課程修了、博士(理学)取得。京都大学、産業技術総合研究所(つくば)、総合地球環境学研究所(京都)で研究員として勤めた後、2012年より神戸大学大学院人間発達環境学研究科に勤務。専門は環境生理学、水域生態学、環境DNA学。2022年11月より(一社)環境DNA学会の代表理事。「科学技術への顕著な貢献2016」、「第21回生態学琵琶湖賞」などを受賞。

活動・研究報告

さくら湖流域協働ネットワークの活動
白岩 良子 さくら湖流域協働ネットワーク 理事長

さくら湖での外来魚生態数把握の新技術 ー血縁度を用いた個体数推定方法ー
大杉 奉功 一般財団法人 水源地環境センター研究第三部 次長

大杉 奉功

影山 志保

裏磐梯・猪苗代における特定外来生物ウチダザリガニの分布調査
影山 志保 郡山女子大学 家政学部 准教授

さくら湖における魚類の行動の季節変化
長岡 祥平 北海道大学 環境科学院 生態系変動解析分野

長岡 祥平

木村 晃章

植生浮島の面積が隔離水界内の水質に及ぼす効果の再検証
木村 晃章 日本大学 工学部土木工学科

主催 さくら湖自然環境フォーラム実行委員会(会長 坂本 浩之 三春町長)
三春ダム維持管理協議会(田村市・郡山市・二本松市・本宮市・三春町)、国土交通省三春ダム管理所、一般財団法人水源地環境センター、福島県土木部河川港湾総室河川整備課、応用生態工学研究所、三春町教育委員会、中妻まちづくり協会、中郷まちづくり協会、さくら湖流域協働ネットワーク

協力 応用生態工学会仙台

問合せ・連絡先
さくら湖自然環境フォーラム実行委員会事務局(三春町教育委員会 生涯学習課)
〒963-7759 福島県田村郡三春町字大町191 三春交流館「まほら」内 TEL.0247-62-3837